

OSK 日本歌劇団「春のおどり」に参加して 株式会社アビリティ 代表取締役 吉田 喜美子

5月15日、大阪松竹座において、OSK日本歌劇団「春のおどり」を鑑賞しました。

まず、この鑑賞会を企画された女性会の役員の皆さんにお礼を申し上げます。

当日は初日であり、また主役の桜花昇るさんの引退のおどりとあって、会場は超満員でした。OSKならではの一糸乱れぬ和洋対照的なレビューに驚きとため息の連続でした。なかでもOSKの花形であるラインダンスは華麗かつエネルギー満ちたことでしょう。

皆さん、人生はいつでもチャレンジです。手をあげ脚をあげ、飛んだり跳ねたり、出来ることから始めようではありませんか。主役の桜花昇るさんは「引退にあたって出会いがあつて別れがありますが、夢に向かい前だけを向いて生きて行こう」と話しました。私はもうすぐ70才となり、人からは引退を勧めますが、私は私、「現役は長く、老後は短く」をモットーにしておりますので、死ぬまで頑張ります。

来阪して五十年経ちますが、東北大震災の際には、女性会からもご支援、ご協力をいたしました。誠にありがとうございました。最後に、大阪がもっともっとすばらしい大阪になることを祈願し、今回の感想文とします。ありがとうございました。



第46回 全国商工会議所女性会連合会神戸総会に参加して

株アルメディア・ネットワーク 取締役 堀内 智子

10月2日、第46回全国商工会議所女性会連合会神戸総会「限りない可能性を求めて～兵庫・神戸から～」は全国から1500名を超える会員が参加し、ポートピアホテルにて華やかに開催されました。

オープニングの兵庫県立長田高校音楽部による神戸と福島の復興を重ねて祈る「花は咲く」と「幸せ運ぶように」の合唱で会場は早くもひとつになります。全商女性会連合会の山崎登美子会長の「思いやりの心で女性が活き活きと活躍し、楽しく子育てができる地域の実現を目指して活動する」との活動方針、そしてそのために「行動する女性会」を強く打ちだして行こうとの言葉が一層心に響きました。

また、全女連表彰式で私たち大商女性会は、会員増強に力を尽くし組織強化における業績を評価していただき、表彰されました。池上会長のもと、これまでの活動が実を結んだことをとても嬉しく感じています。

総会は次回石川全国大会に全女連旗をつなぎ閉会しました。

その後「日本の危機管理は大丈夫か」と題して小川和久氏による記念講演がおこなわれました。意思決定やリーダーシップの訓練、防衛省の24時間保育の試みなど経営にも通じるお話をしっかり学びました。

翌日のエキスカーションは神戸女性会の方々にそれぞれのコースでご用意いただき、私は日帰り社会見学のコースに参加。移動バスの中でも、神戸の会員であるツマガリ様のミニ事例発表が急遽行われたりと、楽しく学び多い一日でした。

この2日間で大勢の方々からパワーと元気をいただきました。すべての方々に感謝いたします。ありがとうございました。



平成26~27年度 大阪商工会議所女性会 名誉会長・役員・顧問・参与名簿

名誉会長 尾崎公子	オザックス㈱	橋本純子	中央漁具㈱	富田祐子	センターフィールド㈱
会長 池上淳子	小倉屋㈱	大川雅子	㈱コニック	中西理翔	㈱アルコネクションプロダクト
副会長 河内幸枝	マロニー㈱	飯田徳子	㈱田金属工業㈱	中根三恵子	三和通産㈱
小野幸子	相互タクシー㈱	今田富久恵	㈱ラン・コント	中山登美子	白水貿易㈱
堀内智子	㈱アルメディア・ネットワーク	嵯原恵美子	㈲中村屋本店	新原茉莉	㈱東茉コレクション
乾恵美子	乾印栄養化学㈱	木内達子	㈱マルヨシドレス	西尾康子	㈱セントエステート
監事 貝原富美子	貝原会計事務所	貴島清美	㈱ディプロム	平松悦子	㈱グループ・エコ
八木洋子	八木産業㈱	久保田光恵	㈱アークティック	廣瀬恭子	㈱広瀬製作所
顧問 上西美智子	㈱アシスト	阪口英子	弁護士法人近畿中央法律事務所	藤河和子	㈱タナック
参与兼常任委員 野田祥代	㈱野田テック	篠原レイ子	㈱フルーティネスセンター	古谷裕子	北港運輸㈱
山下敦子	三恵商会㈱	鈴木美和子	㈲オフィス・メイ	古山通代	㈱エルプラドジャパン
荻田紹佐子	城東印刷㈱	田路朋子	オーサカ・ユニーク㈱	村橋真理子	㈱興国鉄鋼所
北本みづ子	幸福米穀㈱	田中真知子	㈱大宝	森口ひろみ	㈱ファースト・アシスト
中前怜子	初田防災設備㈱	田村由美子	田村㈱	山野千鶴子	日本クリーンシステム㈱
尼崎慶子	尼尼伊	辻恵美子	辻不動産㈱	山本依津子	㈱潤西建設

平成26年度の主な事業予定(後半)

平成26年	
11月7日(金)	視察研修会
8日(土)	
11月17日(月)	【大阪府女性会連合会】研修交流会
11月19日(水)	大阪ダックツアー&夕食懇親会
平成27年	
1月23日(金)	新年互礼会
2月18日(水)	経営事例発表会
2月	【近畿女性会連合会】理事会&会長会議
3月	【大阪府女性会連合会】総会&講演会

◆広報委員より◆

総務委員会に2年間お世話になり、今回広報委員会に所属させていただくことになりました。

総務委員会の時とは雰囲気の違った中で、広報委員に指名いただき、久しぶりに緊張しました。若い方も多く、しっかりと信念と目標をかかげて前進している姿は頗もしく勇士に思えます。

またこの時代、政治、経済、自然災害など、どのように変化して流れいくのか少し不安ですが、ご縁あって広報委員会に所属させていただくことになりましたので、冒険したいと思っています。

皆さまとさまざまな問題の意見交換、子育て、介護、教育、プロの人材育成など、テーマを唱えてディスカッション形式で問題解決にむかっていく、楽しい会であり意義のある大切な時間になると思います。そして広報としてさまざまなことを発信し、皆さまの活動に役立てるための材料、資料を作成できればと考えています。

エル・モーザ 代表 中本智恵子

※掲載している役職は、全て開催当時のものです。



Vol. 31 2014年 秋号

「第26回 近畿商工会議所女性会連合会総会・大阪大会のご報告」

オザックス株式会社 取締役相談役 尾崎 公子



「近畿商工会議所女性会連合会・大阪大会」は、去る5月23日、緑したたるばかりの帝国ホテル大阪に於いて、まことに盛大に開催されました。傘下57女性会すべてより、実に902名ものご参加をいただき、当連合会26年の歴史に一段の輝きを添えることができました。

午後1時、司会者 河内副会長による総会開会の辞、そのあと池上会長がはつらつと女性会の意義を述べられました。続いて私が実行委員長の立場で「友情と信頼が、綾に織りなす“つづれ”こそが、女性会の神髄、心響きあうよき友の宝庫として、固く手をとりあって邁進したい」と呼びかけました。全会場が拍手の渦、まさに「近畿」が一心同体となれました。

続いて、西村副会頭(サクラクレバス会長)より「夢のある企業に」と題して、意義深い講演を拝聴。懇親会では、ホテルご自慢のフルコースに舌鼓を打ちつつ、孔雀の間舞台一杯にくり広げられた、OSK歌劇団のすばらしさを満喫することができました。

解散時の混雑を、私どもはとても心配していたけれど、ホテル側の格別のご高配により24台のバスすべてが瞬く間に発車し、30分で全員が帰途につくことができ、大阪一同ほっと胸をなでおろしました。

恐縮ながら大阪女性会在籍35年を迎えた私は、当大会を集大成と心得、実行委員長の重責を担いました。微力ながらも、己のあらん限りを投入させていただき、大商女性会はじめ、各地女性会皆々様の見事なまでの活躍により、大輪の花を咲かせることができました。

まさに感謝の極み。私の生涯で最高の感動を与えていただけた喜びを、日々かみしめています。終わりに臨み当日、大商より大勢の職員がホテルにお運びいただき、お力添え下さったこと厚くお礼申し上げます。

第26回 近畿商工会議所女性会連合会総会・大阪大会に参加して

株式会社信光 代表取締役 加納 芳枝



5月23日、帝国ホテル大阪に近畿各地から902名の近畿商工会議所女性会連合会の皆さまが集われました。昭和の美女達がそれぞれのユニフォームを装い、しとやかににこやかに来場。大阪商工会議所女性会の会員一同、胸を躍らせながらのお出迎えとなりました。

開会式は、国歌斉唱、商工会議所女性会の歌の合唱に始まり、池上淳子女性会会長の挨拶、そして、尾崎公子名誉会長が大阪大会への思いを熱く語られ、いつもながらの元気と勇気を与えて下さる挨拶でした。メッセージに「ご参加の皆様、関係者の皆様、帝国ホテルの皆様へ、ありがとうございます!! うれしいです!!」の

お話しが印象的でした。

案内でも尾崎名誉会長自ら、東北と大阪の合同物産展の紹介などをされました。

食事は帝国ホテルの最高のおもてなしで、また、OSK日本歌劇団の華やかなショーに元気印の波動を感じ、女性会に入会して初めてのこの大きな大会に参加出来たことは大きな喜びとなりました。

お見送りは、尾崎名誉会長、池上会長、女性会員、帝国ホテルの皆さんのが一丸となり、最後のバスが見えなくなるまで、手を振り続けました。



女性会に思う

私、6月の大商工議所女性会総会において、会長職を再任いただき、これから2年継続させていただくことになりました。先の2年間は近畿商工会議所女性会連合会総会・大阪大会に向けて尾崎実行委員長の下、会員の皆様が一生懸命ご協力いただき又それまでに会員数200名という、私の目標を本当に実現していただき感謝いたしております、ありがとうございました。

私がこれから2年間でを目指すところは、大阪の女性会は他の女性会のように何かを形で現す、例えば地域と一緒にになってお茶会や講演者を依頼して、チケットを販売して収益を上げるとかは一切しないことにしています。これは大阪商工会議所女性会設立以来守っていることです。会員は人脈のある方ばかりなのでどのような方でもご依頼していただけるかと思いますが、私は私達女性会の一人一人が、社会での活躍ぶり、そして会社で培ってきたこと等、歴史・その努力の過程・そして将来についての意見が現実に則した姿で互いに学び合い、切磋琢磨し合える場であると考えております。

200人の会員がそれぞれの企業人としての生き方、考え方身近に出会えるのは他にない組織であると思います。尾崎名誉会長の言葉では「人間浴」です。

全国商工会議所女性会は412の組織で約2万3千人の会員がおられます。その全体の会議に大阪の会長として出席させていただきましたが、私はそれぞれの単会を充実させることが大切と実感します。

これからの2年間、明るく、楽しい、和やかな組織にいたしたいと考えておりますが、それには会員の皆さんがあなたでも多く委員会や新年会・総会・事例発表会・親睦会等、ご都合のつく限りご出席いただき、帰属意識を高めていただきたいと考えております。皆さんのご協力をお願いします。

副会長に就任して

副会長 乾 恵美子

この度、副会長の大役を務めさせていただくことになりました。私はまだ経験が浅く、その責任の重さに身が引き締まる思いがしています。

池上会長のもと、組織強化と会員増強をめざし、会員皆さまのご協力を仰ぎながら、女性会の発展のため、微力ではありますですが力を尽くす所存です。

これまで女性会のためにご尽力いただいた諸先輩方のおかげで、女性会の活動は、現在、たいへん活発化しています。女性会が、今後もますます活発で楽しい会となることを目指したいと思います。また、お互いが親交を深めながら自己を磨き、人間力を高めることができるように日本で一番輝く女性会を目指して頑張りたいと思います。

皆さまにはあたたかなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度通常総会と講演会に参加して



6月27日、帝國ホテルに於いて平成26年度通常総会が開催されました。参加者全員で、女性会の歌を合唱、活動指針の唱和に続き、亡くなられた方へ黙祷を捧げました。

池上淳子会長の挨拶から始まり、常に女性会を見守ってくださる尾崎公子名誉会長の激励のお言葉をいただきました。

講演会は、大阪市の柏木陸照中央区長より示唆に富むお話をうかがいました。柏木区長は、外資系ビジネスマン出身、とても明解な方で経済特に数字に強く、ロジカルな論調が印象的でした。データの分析力に非常にたけたお話が続き、一時間あまりの講演はテンポがよく、あっという間でした。

「世界は日本をどう見ているか」の内容は特に印象的で、欧米の方々と日本人がお話しする際に判断される視点に触れられました。一つの事柄や最近のニュースについてどんな観点で会話ができるのかというお話は一番興味深い内容でした。例えば、ギリシャの歴史上の出来事や、その時の登場人物の言葉などを例に出して、各自の考え方をきちんと示す姿勢が必要ですと明言されました。それは、小さい時からの蓄積すべき教養・経験・人間の深さが量られるもので、「幼少期からきちんと意見を持ち話すという教育をされていないと、海外の方との会話では論理的に言葉では発することができない」という点に気づきました。

日本文化に精通している海外の方の情報量はハンパではないので、「もっと日本人自身が日本の文化を深く知るべき」という提言や、海外の女性管理職の割合に触れ「欧米の女性の管理者の割合の高さが、車の購入に比例し経済効果にプラスになる」という話に納得。

女性会の友情の輪と新しいタイプの行政のリーダーに感銘した素晴らしい一日になりました。

会長 池上 淳子



経営事例発表会

乾卯栄養化学株式会社
代表取締役社長 乾 恵美子さんの
お話を聞きして

センターフィールド株式会社 代表取締役 富田 裕子



乾卯栄養化学株式会社は、安政2年(1855年)に大阪道修町に近江屋の屋号で漢方生薬仲買商として創業した歴史ある会社で、来年で創業に160年を迎えられます。

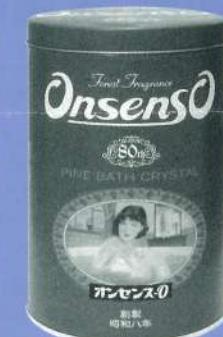
明治に入り初代乾卯兵衛が中国満州より原材料の草本を輸入して難波に処理工場を開設され、大正時代には満州に対する販売を目的とした支店や、工業薬品製造工場開設も果たし、昭和20年の終戦までは、大連をはじめ天津支店など中国各地13拠点を開設されました。終戦と共に全資産を放棄されました。

昭和8年に松葉エキス入浴剤「オルセン」の製造販売開始、昭和37年

までは医薬品、37年以降は医薬部外品となりました。昭和9年(1934年)現在の屋号を乾卯栄養化学株式会社に商号変更、53年には大阪商工会議所より創業100年以上の顕彰を受けられた本当にすごい歴史のある企業で、私達の目指すところです。

戦後途絶えていた中国とのビジネスも再開し、爆発的な販売ヒット商品を作られました。ビジネスは山あり谷ありで、類似商品による価格破壊により、ピンチに立たされたこともありました。三方よしの近江商人の心を忘れず企業理念をつらぬき通されたことはすばらしいことと思いました。

「健康を明日へ繋ぐ社会貢献出来る企業」を目指し、社員一同汗と知恵を出し合って邁進しておられる姿に感動しました。



有限会社パワーエンハンスマント
代表取締役社長 三根 早苗さんの
お話を聞きして

豊印刷株式会社 取締役 奥野 ますみ

佐賀県嬉野市のお茶農家に生まれ、日曜も関係なく働く両親を見て、将来は「カレンダー通りに休める会社員になりたい」と思ったそうです。どのような仕事がしたいか本格的に考えたのは高校生の時だそうです。テレビCMを見て人口角膜・人口皮膚の研究に興味を持たれ、京都大学工学部合成化学科に入学されました。卒業後は化学メーカーに化学者として就職されましたが、多忙な実験生活の中で、「私は本当にこれでいいの?」「私は社会に役立っている?」という悩みが尽きることがなかったそうです。「好きなことを仕事にしてもっと人生を楽しもう!」と決意し、20代最後の年に退職されました。その後、セラピストのスクールに通って技術を身につけ、ホームサロンでアロマセラピストとしての活動を始められました。



起業後は、経営ノウハウに関してひとり試行錯誤する中で、同じような境遇のセラピストが数多く存在することに気づき、女性の起業家ネットワーク「わくらく」を2004年に設立。ここで本当に進むべき道を見つけられたのだと思います。

様々な癒しメニューをパッケージにして商店街や展示会などに集客方法として提案するようになり、仕事の量が増えただけでなく、わくらくメンバーの数も徐々に増えていき、活動の幅が広がっていました。そして2005年、「好きなことを仕事にして人生を楽しみたい」と願う女性のサポート体制を整えることこそが自分の使命だと思い、セミナー運営やイベント企画を行った有限会社パワーエンハンスマントを設立されました。

女性がもっともっと活躍していく時代です。今現在でも夢を実現したい女性のためのサポートを必要としている人も少なくないと思いますし、何よりたくさんのご縁と繋がってこられた三根社長ご自身の豊かな経験こそが、心強いサポートではないでしょうか。女性が活躍する未来、そして今後の活躍に期待が高まります。